

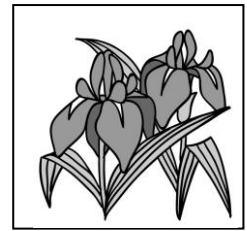


令和2年度

横浜市立生麦小学校

# 学校だより

横浜市鶴見区生麦4-15-1 学校長 沼田 留美子  
<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/namamugi/>



5月(皐月)

## 休校が続く中で

校長 沼田 留美子

朝、校長室の窓を開けて、空気の入替えをします。いつも子どもたちが登校してくる時刻になっても、校庭はひっそりとしています。遠くの高速度道路を走る車の音にまぎれ、時折、様々な鳥の鳴き声が聞こえてくる、穏やかな朝です。

学校は休業中ですが、立夏を過ぎた空は青く澄み渡り、校庭の自然はいつも通りの景色を彩っています。学年の畑は、先生方が耕しています。クローバーの緑のじゅうたんの上でシロツメグサが白い花を咲かせています。小さなピオトープではオタマジャクシがたくさん泳いでいます。子どもたちが戻ってくるのが本当に待ち遠しくなります。

休校期間が延長される中、お子様はもちろんのこと、保護者、地域の皆様におかれましても、先行きが見えない不安な気持ちでお過ごしの方もいらっしゃるかと思います。保護者の皆様には、4月22日に配信したお子様の様子についてのアンケートへのご回答をありがとうございました。アンケート結果を見ると元気になっている子が多いこと、各御家庭でお取り組みいただいている学習の様子が伝わってまいりました。本来でしたら授業で学びを進めるところですが、家庭での学習・生活へのお力添えをいただき、心から感謝申し上げます。

教職員も子どもたちの学びの継続と学校再開に向けて準備をしています。お子様が学校の様子に触れられるよう、今月からホームページに各学年の担任からの発信も行います。学びを続けられるよう、工夫して新しい課題も用意し郵送いたしました。子どもたちに会えないことは寂しいことですが、心はつながっています。まずは自分の命は自分で守り、元気で、健康で過ごせるよう、生活のリズムを整えることを心がけていきましょう。子どもは未来を創る大切な存在です。まちの宝です。子どもたちには自分を磨くために日々学び続けることを忘れないでと伝えたいと思います。「乗り越えられない試練は与えない」という言葉が聞かれます。未曾有の試練が続いていますが、一日も早く乗り越え、皆様と元気に再会できることを心から願っています。